

平成27年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	被災地における消防団の安全確保と復興推進事業			担当部局	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定)年度	平成26年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律、消防組織法、災害対策基本法			関係する計画、 通知等	「新しい東北」の創造に向けて(平成26年4月18日復興推進委員会)、避難解除等区域復興再生計画(平成25年3月19日内閣総理大臣決定)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	消防団の広域応援を支援するため、消防団員の安全確保対策の充実を図る資機材、消火・救助活動等に必要な車両及び救助資機材等を無償貸付し、訓練等により災害対応能力の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地において消防力を確保するための消防団の広域応援を支援するため、広域応援に必要な車両・資機材を無償貸付けし、借受け市町村が車両等を用いた訓練を実施するもの。							
実施方法	直接実施、貸付							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	191	-	-	-	
		補正予算	-	65	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	65	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	▲65	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	0	191	65	0	0		
	執行額	-	131	52.2				
執行率 (%)	-	69%	80%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	すべての無償貸付借受団体において訓練を実施する	無償貸付借受団体による訓練の実施市町村数	成果実績	団体	-	21	24	
			目標値	団体	-	21	24	-
			達成度	%	-	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	消防団車両及び資機材の無償貸付先の団体数	活動実績	団体	-	21	3		
		当初見込み	団体	-	21	3	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	消防団車両及び資機材の整備額 / 貸付団体数(延べ) ※車両及び資機材の種類により単価が異なるため、単に執行額を貸付団体数(延べ)で除したもの。	単位当たり コスト	百万円	-	5.8	17.4		
		計算式	/	-	121.2/21	52.2/3	-	
平成27・28 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	東日本大震災を踏まえ、原発被害による避難指示区域を有する市町村と広域応援協定を結んでいる消防団が、災害時の広域応援を円滑に行うための事業であり、国民ニーズや優先度が高い事業である。必要な資機材等を国が整備し、当該資機材等により消防団等が訓練等を行うものであり、役割分担は明確である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	同上	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調達是一般競争入札により行っており、各種予算の執行管理を徹底し、経費の削減に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	同上	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	同上	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	無償貸付車両等については訓練計画及び報告書により、貸付先の地方公共団体において効率的・効果的に活用されていることを消防庁としてチェックしている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	同上	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	同上	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	無償貸付車両等については引き続き、訓練計画及び報告書により、貸付先の地方公共団体において効率的・効果的に活用されていることを消防庁としてチェックする。			
	改善の方向性	本事業は平成26年度で終了した。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	事業の目的である消防団員の安全確保対策は、平成25年度予算において一定の目的を達成しており、平成26年度以降は予算計上していない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	事業の目的である消防団員の安全確保対策は、平成25年度予算において一定の目的を達成しており、平成26年度以降は予算計上していない。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新25-016	平成26年度	037		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
64.8百万円

〔総務省消防庁へ移替え〕



消防庁
64.8百万円



A【一般競争入札】

民間業者等 2団体
52.2百万円

〔物品の製造・納入等〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 株式会社モリタ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 オートマチックトランスミッション	36.5			
計		36.5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社モリタ	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 オートマチックトランスミッション2台	36.5	5	96.2%
2	第一実業株式会社	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 マニュアルトランスミッション1台	15.6	4	82.9%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					